

泉南市自転車活用推進計画 【概要版】



○計画策定の背景と目的

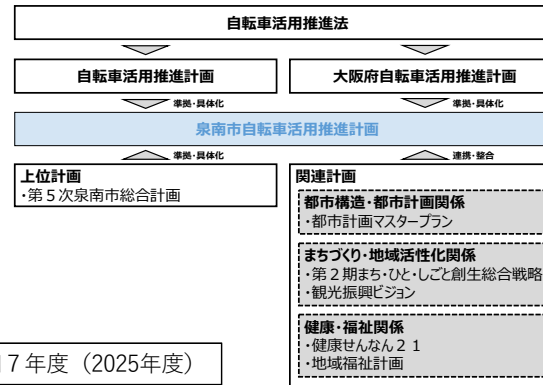
- 自転車は身近な移動手段として様々な場面で利用されており、自転車をもつ特性を活かして、地域課題を解決していくことが期待されています。
- 本市においても、きめ細かい地域内交通の不足や環境・健康面での課題解決に加え、観光活性化を図ることを見据え、自転車を利用しやすい安全で快適な環境を創出していく必要があります。
- 本計画は、泉南市が抱える課題解決に向けて、自転車活用推進に関する目標や目標達成のために実施すべき施策・措置等を取りまとめたものです。

○計画の位置付け

- 国・府の「自転車活用推進計画」や、上位計画である「第5次泉南市総合計画」に基づきつつ、各種関連計画と連携・整合させながら、自転車活用推進のあり方や取組を具体化します。
- 本計画に基づき自転車の活用を推進することで、政府が掲げる「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に貢献することが期待されます。

計画対象区域：泉南市全域（関西国際空港を除く）、計画期間：令和2年度（2020年度）から令和7年度（2025年度）

▼計画の位置付け



▼持続可能な開発目標（SDGs）

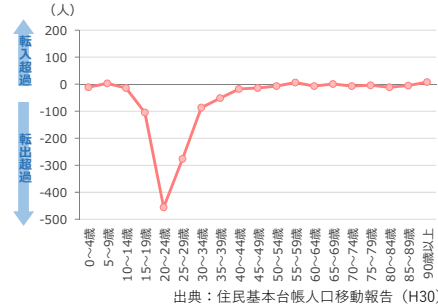


■泉南市の現状

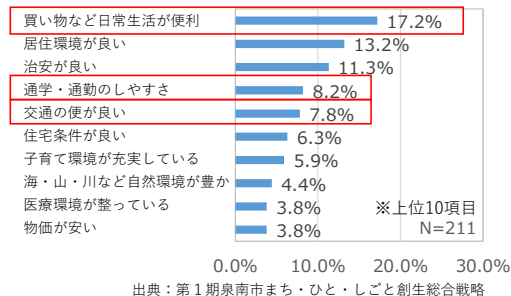
○地域拠点の機能、利便性が低下

- 大学への進学や就職に伴い、10代後半から20代の転出が多くなっています。
- 住みたいまちとして買い物や通勤・通学のしやすさ、交通の便の良さ等が求められています。

▼泉南市の転出及び転入の状況



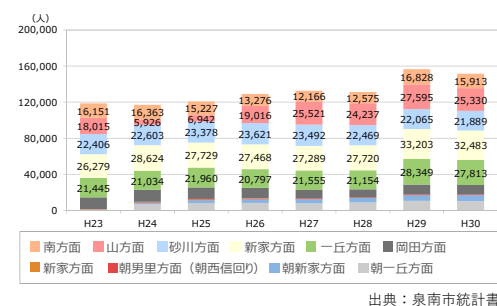
▼高校生が住みたいと思うまちに必要なもの



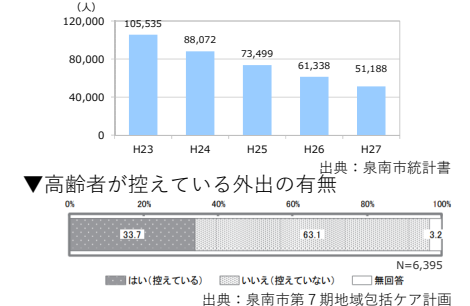
○きめ細かい地域内交通の不足

- 南海ウイングバス南部、さわやかバス等が運行していますが、運行水準は限られています。
- 交通手段がない等の理由から、外出を控えている高齢者が3割程度存在しています。

▼さわやかバスの利用者推移



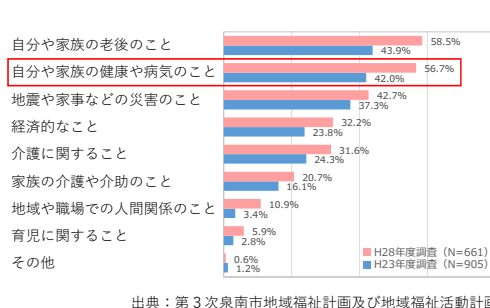
▼南海ウイングバス南部の利用者数推移



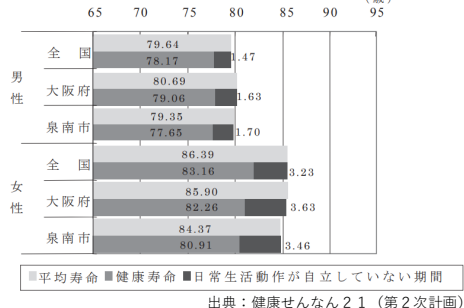
○健康に対する不安が増加

- 市民の半数以上が自分や家族の健康、病気のことを不安を感じています。
- 健康寿命は男女ともに、全国平均や大阪府平均に比べて短くなっています。

▼生活に対する不安（20歳以上の市民）



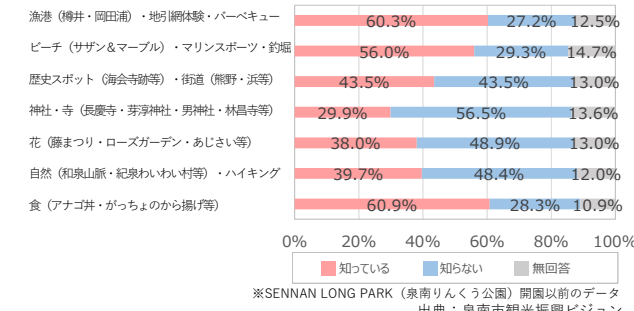
▼健康寿命



○集客資源を活性化に活かしていない

- 市内の観光資源は、内陸部にあるものほど認知されていない状況にあります。
- 魅力ある資源の周遊・回遊を促すことができていないと考えられます。

▼観光資源の認知度（泉南市外在住者）



第5次泉南市総合計画

<都市構造・都市計画関係>
都市計画マスタープラン

<まちづくり・地域活性化関係>
まち・ひと・しごと創生総合戦略
観光振興ビジョン

<健康・福祉関係>
健康せんなん21
地域福祉計画

<自転車分野から目指すべきまちの姿、キーワード>

- ・徒歩や自転車で移動しやすく定住性が高いまち
- ・質の高い生活環境、活力・にぎわいのあるまち
- ・生涯にわたり健康な生活
- ・環境にやさしいまち
- ・地域資源を活かした観光・ニューツーリズム

自転車を活用したまちづくりの目標と実態

実態調査 / 関係者意見・関連施策動向

2~3割が自転車を利用／道路特性から幹線だけでなく生活道路も利用

- ・自転車は2~3割程度の人が利用し、多くが自動車を利用しています。
- ・自転車はりんくう南浜エリアや樽井エリアに向かう移動で多く利用されています。
- ・山側⇄海側では信達樽井線が、和歌山側⇄大阪側ではりんくう南周回線や国道26号が主要路線となっています。
- ・踏切位置等から歩道のない生活道路を利用するパターンが多くなっています。
- ・通行環境に対してほとんどが満足していない状況です。

より上手く利用してもらうために、分かりやすい利用環境や教育が必要

- ・自転車を持たない人でも利用できる環境、運転しやすい安全・安心な走行環境が必要です。
- ・後ろ向きに自転車を使う人（愛着・公共心低）が多く、通行方法を知っていてもほぼ守らない人もいます。
- ・前向きに自転車を利用してもらうには、正しく使える環境や教育、多様な層が使いやすい環境が必要です。
⇒泉南市の多様な利用状況にあわせ、分かりやすく、安全・安心な通行環境
⇒通行空間以外の環境確保（シェアサイクル等）
⇒自転車を正しく使える、使う、雰囲気づくり、通行環境のモデル・ショーケースづくり、教育

高齢者でも活用可能性あり／安全・安心で運転しやすい環境が必要

- ・移動に支障がある高齢者等でも、自転車の利用可能性が一定存在しています。
- ・自転車の利用には、わかりやすく使いやすい環境、安心して利用できる環境が求められています。
⇒高齢者にも運転しやすく、安全・安心な通行環境（標示・案内、専用空間+運転しやすいディテール）
⇒高齢者にも使いやすい通行空間以外の環境整備（電動アシスト等）

健康づくりに自転車活用が可能／環境づくり・きっかけづくりが必要

- ・健康づくりや運動へのサイクリングの取入に興味がある人は一定数存在しています。
- ・サイクリングを楽しむためのコース設定・施設整備やバンク等の自転車修理を行う自転車販売店舗の拡充が求められています。
⇒サイクリングがしたくなる安全なコース・環境づくり、活用のきっかけづくり

周辺資源を活かし、自転車と連携させることで認知度・魅力向上が可能

- ・山側に位置する施設への回遊をあまり促せていません。
- ・泉州サイクルルートへの来訪が、泉南市への立ち寄り・活性化につながるような連携が望まれます。
⇒シェアサイクルの仕組み、既存のスポット、資源を活かした回遊のしくみづくり
⇒自転車による魅力の顕在化と併せた回遊性向上、自転車によるアクセスを含めた魅力づくり
⇒周辺エリアのサイクルツーリズム、自転車スポーツのハブ・コンテンツとしての地域ブランディング

自転車の有効性

接続性

- ・高い機動性や省スペース性を活かして、きめ細かくまちや交通を結ぶことが可能です。

幅広い移動手段に

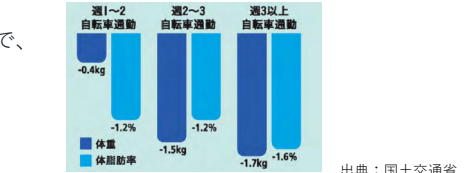
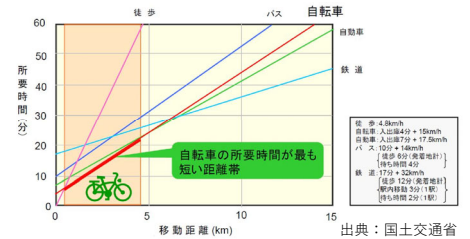
- ・高齢者にも使いやすい工夫により、幅広い層に対応した手段の確保が可能です。

健康効果

- ・自転車に日常的に乗って移動する習慣をつけることで、成人病予防や健康維持が可能です。

魅力創出

- ・自転車の回遊性により、地域の魅力創出が可能です。



目標

目標①
自転車で、便利で
快適な移動・生活
を創出する

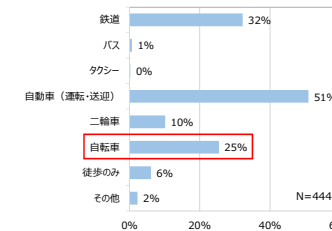
目標②
特に、高齢者が安全・上手に使える
ツールとする

目標③
自転車により健康
を増進する

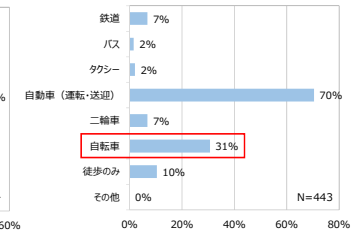
目標④
自転車を活かして
周遊・地域活性化
を促進する

▼日頃利用している交通手段

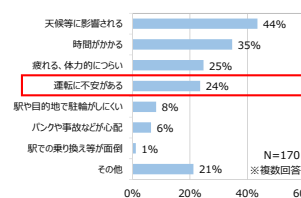
<通勤・通学>



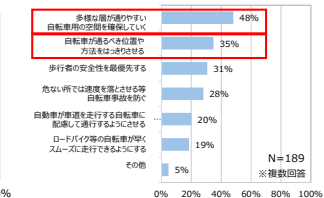
<買い物>



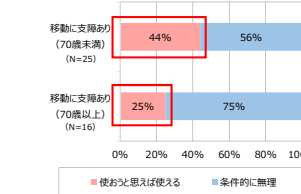
▼自転車を利用しない理由



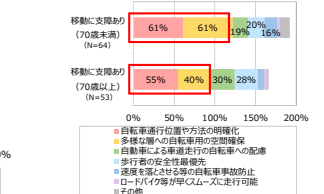
▼自転車通行環境づくりへの考え



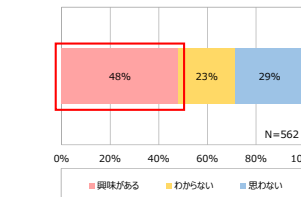
▼自転車の利用可能性



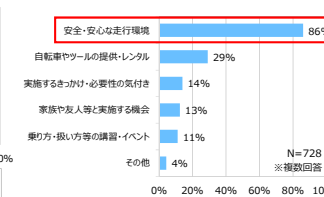
▼自転車通行環境づくりへの考え



▼サイクリングの実施意向



▼サイクリングの取入に必要なこと



課題

取組

課題①
誰にとっても自
転車を使いやす
い状況づくり

施策1 | 誰にでも使いやすい軸づくり

正しく使いやすく、使いたくなるモデル区間をつくる

<措置>

- ・重要路線におけるモデル整備の推進／歩道空間も活用した双方向通行空間の整備推進
- ・モデル整備を活用した正しい利用啓発／整備と連動させた周知活動、キャンペーン等の実施を検討

施策4 | 利用環境確保の拡大

市域全体の利用環境（走行・駐輪・鉄道連携等）を整える

<措置>

- ・重要路線以外における自転車通行環境の整備の推進／路線特性に合わせた矢羽根等による整備を実施
- ・シェアサイクル等の導入検討／周辺市町村や事業者等と連携したシェアサイクルの導入を検討
- ・市営駐輪場における運営手法の見直しと放置自転車対策／運営適正化・効率化を図る運営手法を検討、駐輪禁止区域内における放置自転車の適切な処理を実施

課題②
賢く自転車を利用
できる習慣・
文化づくり

使いやすい、
から
楽しく、賢く
使うへ展開

施策2 | 自転車利用における安全の確保

ルール・安全な利用の浸透、安全な車両の普及拡大

<措置>

- ・自転車利用経路上の危険箇所の点検、対策の推進／学校等と連携して危険箇所を把握し、ハード・ソフトの対策を実施
- ・交通安全教室の実施・拡大／年齢の段階にあわせた自転車交通安全教育の実施
- ・自転車の点検・整備の啓発／自転車販売店・整備店と連携した点検イベント等により点検、整備を促進
- ・ドライバーへの安全啓発の実施／市内の集客施設や教習所等と連携し、イベント等で自転車への配慮や共存についての啓発を実施
- ・ヘルメットの着用・普及促進／ヘルメット普及に向けた広報啓発を実施、小中学生等に対しヘルメット着用の必要性を周知

課題③
自転車による健
康・運動習慣の
醸成・定着

施策3 | 賢く自転車を利用する習慣・文化づくり

若いうちから、適切に楽しく自転車を利用できる習慣、地域文化を創出する

<措置>

- ・自転車のメリット、効果等の周知啓発／「自転車通勤企業」宣言プロジェクトや市広報誌等の既存媒体を活用した周知活動を実施
- ・高齢者にも使いやすい自転車等の普及促進／関係機関と連携し、高齢者にも使いやすい自転車等についての情報提供を実施
- ・自転車損害賠償責任保険の加入促進／チラシやポスターによる広報啓発を実施、小中学生等に対し保険加入の必要性を周知

課題④
自転車による地
域内外周遊の魅
力の創出

正しく・楽しく使
える自転車文化を
健康づくりに波及

施策5 | 自転車による健康・運動習慣の創出

特に、健康改善や予防等に効果的な自転車の活用の浸透を図る

<措置>

- ・健康サイクリングの周知啓発／自転車を活用した健康づくりについての情報発信を検討
- ・スポーツサイクルの体験・普及促進／関係機関と連携しながら、スポーツサイクルに関する情報提供を実施
- ・自転車による健康づくり拠点の検討／泉南りんくう公園等と連携し、健康アクティビティの実施や情報の拠点づくりを検討

課題⑤
各層の自転車利
用における安全
の確保

使いやすい環境
を活かして、周
遊・魅力創出へ

施策6 | 自転車による周遊環境・魅力向上

地域内+αの既存資源や人の動きを踏まえ、周遊を促すことができる魅力創出、環境づくりを進める

<措置>

- ・自転車を活用した地域ブランディング、モデルルート等の設定／観光マップ等を活用し、自転車で山側まで足を延ばしてもらうモデルを検討
- ・地域資源を活かしたイベント等の開催／地元店舗・観光施設等と連携したツアー等のイベント、スタンプラリーを実施
- ・泉州サイクルルートの取組との連動／泉南市の観光資源・拠点等を活かした、相乗的な連携施策を検討

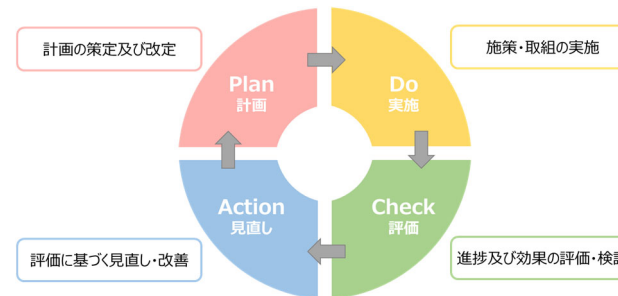
取り組みの進め方

効果的な計画推進のため、効果評価を行いながら施策展開を見直し

- ・本計画では、施策の進捗状況や目標の達成状況、取組効果等について評価・検証していきます。
- ・また、課題事項を整理し、施策内容や実施方法の改善や施策展開の見直しを行います。

項目	進捗管理の方法
目標年度	令和7年度（2025年度）
評価期間	毎年度
評価方法	目標毎に指標を設定し、達成状況を評価・検証

▼進捗管理のイメージ（PDCAサイクル）



評価方法

自転車の活用により、泉南市の目指すまちづくりを推進できているかという観点で評価・検証を実施

- ・目標の実現を確実に進めていくため、以下の指標に基づいた評価・進捗管理を行います。

項目	指標	データ取得方法	現況値		目標値
施策1：誰にでも使いやすい軸づくり	市民の自転車利用率	市民アンケート調査	37%	R2	増加 ➡
	重要路線における自転車通行空間の整備	整備実績	0 路線	R2	2 路線以上
	自転車交通量（市場稲荷交差点）	自転車交通量調査	242台／日	R2	増加 ➡
	通行方法の順守率（対象箇所通行量／自転車交通量）	自転車交通量調査	—	—	増加 ➡
施策2：自転車利用における安全の確保	自転車事故件数	関係部局へデータ提供を依頼	49件／年	R1	減少 ➡
	交通安全教室の実施回数	関係部局へデータ提供を依頼	18回	R1	維持 ➡
施策3：賢く自転車を利用する習慣・文化づくり	自転車に対して愛着を持つ人の割合	市民アンケート調査	34%	R2	増加 ➡
	交通ルールの順守率	市民アンケート調査	原則車道通行 29% 車道左側通行 41% 歩道歩行者優先 36%	R2	増加 ➡
施策4：利用環境確保の拡大	重要路線以外における自転車通行空間の整備	整備実績	0 路線	R2	1 路線以上着手
施策5：自転車による健康・運動習慣の創出	運動習慣を持つ人の割合	関係部局へデータ提供を依頼	男性 47.2% 女性 34.5%	H26	増加 ➡
	外出を控える人の割合	関係部局へデータ提供を依頼	33.7%	H28	減少 ➡
施策6：自転車による周遊環境・魅力向上	観光施設への入込客数	関係部局へデータ提供を依頼	—	—	増加 ➡
	内陸部における観光施設・スポットの認知度	関係部局へデータ提供を依頼	街道 43.5% 神社・寺 29.9% 花 38.0%	H27	増加 ➡
	サイクルステーション・拠点の設置箇所数	設置実績	1箇所	R2	増加 ➡